

あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房
 広報 VOL.35 2016.04.01
 編集 あいかわ工房編集委員会
 発行責任者 熊谷直丈
 ホームページ あいかわ工房 [検索](#)
 TEL 046-281-1157



高山植物の女王

コ マ ク サ

高山の荒地(砂礫)に自生している他の植物が生育できないような厳しい環境に、凜として美しい花を咲かせることから、『高山植物の女王』と呼ばれています。

花の形が馬の顔に似ていることから 駒草 コマクサ と名づけられました。

高山で風雪に耐え、雪が融け温かな日差しの中、砂や石ころの中に咲いている姿はとても美しいものです。しかし、その美しさから、根を掘り起こして持ち帰る人がいます。環境が変わった所では根がつかずに枯れてしまいます。悲しいですね。『やはり野に置け蓮華草』と云う言葉があります。

苦勞してもその場に行つて、見たいものです。 八方尾根で撮影

私たちは障がいのある方が慣れ親しんだ地域で、楽しく生活して頂き美しく咲いて頂ける様に、支援の輪を広げて行きたいと思っています。

2月17日
 愛川公園の工芸工房村
 お皿作りをしました

昨年もお寄付を頂きました
 澤田京子様から、今年も社協経由
 でご寄付を頂きました。
 昨年はパン作りを企画して、楽
 しく過ごさせて頂きました。今年
 は、愛川公園にある工芸工房村で
 陶器の皿を作り、思い思いの絵や
 柄付で楽しむことが出来ました。
 ご寄付有難うございました。



一か月後に焼き上がった自分の作
 品の前に、品評会です
 モノ作りの楽しさを感じて貰うこ
 とが出来ました



3月11日
 避難訓練をしました
 消防署から講師に
 来て頂きました



煙(人体に無害を出す機械で食堂から出火を想定
 戸の隙間から煙が室内に流れ込んで、避難を開始しました
 職員の誘導で無事に避難することが出来ました
 煙に対しては身を低くする事が原則ですが、障がい腰をかがめられない方がいます
 これからの課題だと思います

火災になった時の心得など、貴重なお話を頂きました 特に体に障害のある方は、先ずは避難することが大切で、煙による有害物質の吸い込みなどで命を落とす方が多い、ハンカチでもタオルでも口、鼻に当てて逃げる・・・etc



消火器の扱い方の説明

みんな真剣に聞きました
 ピンを抜く・ホースを構える
 レバーを握って放水する



一連の動作が、頭で判っていても実際にやるとレバーを握る方が先になったり・・・
 でも、みんな上手く放水して的確に当てていました
 消火器をたくさん用意して頂き、おおぜいが体験できました
 有難うございました



町福祉支援課から、
障がい者理解促進事業
を委託されました

町民の多くの方に、障がいのある方について理解して頂く事が目的です。

2月3日 施設見学

ありんこ高峰作業所・あいかわ工房の2カ所を見学して頂き、見学後に感想をお聞きしたり、ご意見を頂きました。

2月9日 施設見学

ありんこ中津作業所・このわ・あいかわ工房施設外現場の3カ所を見学して頂き、見学後に感想をお聞きしたり、ご意見を頂きました。

2月13日 障がいのある方との接し方講座

外部から講師をお招きして、お話と実際の動作をして頂き、参加して頂いた方たちも車イスの体験をして頂きました。



編集後記

開花が報じられてから寒い日が続き、満開は例年と同じ程度になりましたが、花にまつわる言葉には、初桜、花衣、花あかり、花篝、花筏、等々たくさんあります。

これらは桜の花が日本人の心に深く根付いている事なのでしよう。花と云うだけで桜を指すこれらの言葉には色々な情感が結びつくものです。

入学式の桜は人生の第一歩、希望を胸に『これからの日本を背負う人になつて下さい』と願わずにはいられません。

また年度替りの慌ただしさ、3月末ぎりぎりまでの公共工事が外出時の交通渋滞に追い打ちを掛け、大きなエネルギーのロス、平準化を願いたいものです。

あいかわ工房は地域作業所から、NPO法人に改組して10年が経過しました。就労継続支援の業務も全くのゼロから、多くの皆様に支えられながら歩んで参りました。

今年度の始まり、桜の下利用者の皆様が満足頂けますよう、新たな気持ちで邁進いたします。宜しくお願い申し上げます。

熊谷直丈